

大図研京都ワンデイセミナー

米国図書館界の新潮流

「エンベディッド・ライブラリアン」サービス



京都ノートルダム女子大学ソフィア館5階S502教室
2018.11.4 ⑧ 13:45～受付, 14:00～セミナー開始
会員無料, 非会員500円



申込はこちら



サンディー・クレイマー (アリゾナ大学ヘルスサイエンス図書館 副館長)
マリオン・スラック (アリゾナ大学 薬学部教授)
ジェニファー・マーティン (アリゾナ大学ヘルスサイエンス図書館 司書)
鎌田均 (京都ノートルダム女子大学 准教授)
金田佳子 (富山大学学術情報部図書館 利用支援課)

通訳
あり



「エンベディッド・ライブラリアン」とは、日常の業務において、図書館を離れ、利用者が活動している場から、利用者と活動をともにしつつ情報サービスを提供している図書館司書を指し、そのサービスは近年米国図書館界の一つの潮流になっているといわれ、大学図書館で多く取り入れられています。

今回、アリゾナ大学の皆様をお迎えし、ヘルスサイエンス図書館における「エンベディッド・ライブラリアン」サービスをお話いただきます。あわせて日本の大学図書館員の調査報告として、富山大学附属図書館金田様よりコーネル大学・ミシガン大学の図書館における、他部署と連携した学習支援サービスのお話をいただきます。より利用者に近づいたサービスの提供へと取り組むための一助として「エンベディッド・ライブラリアン」の理解を深める契機としたいと考えています。

